愛知県議会議員

永井雅彦

県政レポート 43

2021.8

発行：永井雅彦事務所　〒448-8661 刈谷市昭和町1-1　TEL 0566-23-4366　FAX 0566-23-8688

議会運営委員会　副委員長
常任委員会：警察
特別委員会：産業イノベーション推進
全トヨタ労連顧問
新政あいち県議団　副団長

暑中お見舞い申し上げます

愛知県の新型コロナウイルス感染症対策は令和3年の5月12日から5月末までの緊急事態措置が、さらに6月1日から20日間の6月20日までの延長がなされた。これは感染者数の高止まりを抑制するための対策と入院患者数が1,000人を超える厳しい医療提供体制の改善を図るためでありましたが、一方で感染症対策の決め手となるワクチン接種にどう取り組むかが喫緊の課題でありました。

感染症克服に大きな期待が寄せられる、ワクチン接種体制整備の加速を大村知事へ求める!!

新政あいち県議団役員として、5月18日に大村知事へ**ワクチン接種体制整備の加速**を求め、**三河地域への大規模接種会場の開設**や**民間企業などの職域接種も含めた拡充を提案**し、医療提供体制への早めの措置を求めてまいりました。

愛知県のワクチン接種の動き

モデルナ製ワクチンを
大規模接種会場で。

県営名古屋空港ビル
藤田医科大学
1日あたり3,000人を接種

＋

予約キャンセル分を有効活用し接種。

ワクチン接種拡充の動き

愛知県の大規模接種会場

名古屋市民(65歳以上)	藤田医科大(豊明市)	6月5日～ 豊明・大府市民(65歳以上) ➡その後　東郷町、日進市、刈谷市
	県営名古屋空港(豊山町)	6月2日～ 春日井市民(65歳以上) ➡その後　小牧市、豊山町
名古屋市民(65歳以上)	バンテリンドームナゴヤ(東区)	7月5日～9月30日 1日最大500人 名古屋市、瀬戸市、春日井市、尾張旭市、長久手市

＋

安城更生病院を大規模接種会場として開設!!

7月3日(土)～9月末までの土日のみ、26日間の開設
対象自治体：安城市、刈谷市、碧南市、高浜市など
接 種 規 模：1日最大840人規模
接 種 体 制：毎週土日の午前9時～午後5時まで

大規模集団接種会場	愛知医科大学メディカルセンター(岡崎市)	藤田医科大学岡崎医療センター(岡崎市)	安城更生病院(安城市)
開設予定日	7月 3日(土)から9月30日(木)まで	7月 3日(土)から9月30日(木)まで	7月 3日(土)から9月26日(日)まで
接種規模	1日最大1,000人規模(土日) 1日最大 500人規模(平日)	1日最大1,000人規模	1日最大840人規模(土日)
対象自治体	岡崎市、豊田市、知立市、みよし市	岡崎市、安城市、西尾市、蒲郡市、幸田町	碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市
開設時間(予定)	(土日)午前10時から午後7時まで (平日)午後 1時から午後8時まで 〈土日 9時間・平日7時間〉	正午から午後8時まで〈8時間〉	(土日)午前9時から午後5時まで〈7時間〉

私どもの求めた三河地域への接種会場拡充は実現された。大模接種会場により9月末までに約31万人が接種予定。

民間企業の職域接種の動き

政府がワクチン接種加速のため民間企業での職域接種を表明。政府が健保連へ要請。
(健康保険組合連合会)
令和3年6月1日

大村知事は6月1日、愛知県ではワクチン接種加速の観点から主な企業による職域接種に関するシミュレーションを実施済み。中部経済連合会、名古屋商工会議所、健康保険組合へ職域接種の準備を要請したと説明。
6月25日には県内の**387**事業所が職域接種を申請。JR 東海、名鉄、トヨタ自動車含むトヨタ系など**約147万2,000人の職域接種が動き出している。**

私ども新政あいち県議団として求めた、三河地域への大規模接種会場の開設と民間企業の職域接種について、今後の動向を注視し改善が必要な場合は引き続き知事へ改善を求め、コロナ感染症の収束に努めてまいります。

令和3年6月定例県議会

オール愛知一丸となって、新型コロナウイルス感染症を克服していく!!

主な議案

6月17日～7月6日の会期で6月定例県議会が開催され「新型コロナウイルス感染症対策」など一般会計補正予算はじめ条例関係含め全てを可決承認しました。

補正予算の概要
670億5,385万円余

はじめに、2022年秋のジブリパーク開業に向けて関連事業に関する契約を締結させていく。6月補正予算の主な事業としては、新型コロナウイルスの感染拡大で経済的に打撃を受けた事業者への支援事業などを織り込む。

また、この1年、新型コロナウイルスを巡るさまざまな誹謗中傷や差別などが匿名で行われているため、10月から県独自のモニタリングを実施する取り組みの試行を開始し、インターネット上に書き込まれる問題に対応していく。

6月21日から7月11日まで蔓延防止等重点措置とし、感染症克服に向け引き続き国と市町村、医療機関と協力し、高齢者施設等のスクリーニング検査などの検査体制及び医療提供体制の更なる強化と維持に全力で取り組んでまいります。

インターネット上の人権侵害に対するモニタリング(監視)を実施する!!

新型コロナウイルス感染者らに対するインターネット上での誹謗中傷や差別について、県独自にモニタリング(監視)する取り組みを10月頃から施行する。

予算額 5,000千円(新規)

背景

- ○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染者やその家族、医療従事者等に対する差別や誹謗中傷等が社会問題化している。
- ○今もなお、同和問題(部落差別)、障害者、外国人(ヘイトスピーチ)などの人権課題が存在するとともに、インターネットの発達により、人権に関する問題が複雑化、多様化している。
- ○近年、インターネットの利用者が急速に増加する中、発信者の匿名性、情報発信の簡易性といった特性を悪用した個人に対する誹謗中傷、差別を助長する表現、有害な情報の掲載、個人情報の流出など、人権に関わる問題が数多く発生している。

委託先事業者モニタリング → **報告を受け、県が削除を選別** → **国(人権擁護機関)へ県が削除要請**

全国では岐阜県、福井県などで導入事例がある

ジブリパーク整備(メインゲート・レストラン棟など)今夏着工へ!!

2022年秋のジブリパーク開業に向けて愛・地球博記念公園の北エントランス2期工事としてメインゲートなどや、北駐車場の整備では490台分を確保する整備費約30億円。「青春の丘エリア」及び「ジブリの大倉庫エリア」に係る演示工事費約21億円、「もののけの里エリア」及び「魔女の谷エリア」に係る整備工事費約105億円を合わせて請負契約の締結を進めていく。

「トトロの部屋」イメージ

「レストラン棟」イメージ

これまでの活動報告

私は2月県議会の一般質問において、西三河地域の広域幹線道路整備への私の考えを述べ、名豊道路の課題である慢性的渋滞など、交通需要に対応する**新規の地域高規格道路「名古屋三河道路」の一刻も早い整備を訴えるとともに**、道路整備が進むことによる**地域経済への波及効果を検証**することができました。

「名古屋三河道路」に関する建設局長答弁

名古屋三河道路は、名豊道路の知立・衣浦大橋始め境川橋梁などで慢性的渋滞による課題に対応し、物流活動を支える大変重要な道路である。愛知県として、これまで知多・西三河地域の交通課題を踏まえ、**「名古屋三河道路」の役割整理や産業面・防災面の整備効果に関する調査に取り組み、地元市町や経済界で構成する協議会と国への要望活動を行ってきた。**今後とも、**「名古屋三河道路」の実現に向け国と連携を図り計画づくりを推進**するなど、さらなる成長を支える広域幹線道路整備に取り組むと答弁。

新聞記事の背景にあるポイント

●広域幹線道路整備が進むことにより物流の流れが活発化し製品・商品の流通が促進される。
●企業は工場建設などの設備投資意欲が向上し、そこには新たな雇用と税収増が現れてくる。

2021年3月5日 中日新聞 朝刊 県内版

県内版

企業立地 10年で91件
11～20年度 全国トップクラス

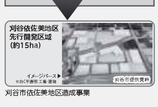
県議会二月定例会は四日、朝日将貴、増田裕二、杉浦正和、神戸健太郎、山下智也、山田高生（自民）、永井雅彦、鈴木雅登（新政あいち）の八議員が一般質問した。県企業庁は、県内の企業立地件数が二〇一一～二〇年度の十年間で計九十一件となり、全国トップクラスだったことを明らかにした。製造業が集積し、道路網や大型港の整備が進む県の強みが改めて示された。永井議員の質問に答えた。（浅井俊典、戸川祐馬、森若奈）

県議会 一般質問

県によると、業種別では、自動車産業を中心とした製造業がトップの六十一件。次いで物流や倉庫関係が続いた。県外に本社を置く企業が愛知に立地したケースも二十二件あった。

県は、企業が工場用として使える土地を今年三月末までに約八百㌶整備。立地企業の初期投資を軽減する税の優遇制度や、大規模投資への補助金支給など、ハード、ソフト両面の整備を進めている。

経済産業省の工場立地動向調査によると、愛知県は一九年の立地件数で全国首位。大村秀章知事は「感染症の流行など社会が大きく変化する中、競争力をさらに高めるには、成長が期待される分野の企業立地を一層促進し、リスクに打ちかつ強靱な産業構造を構築することが重要だ。事業発展に取り組む企業を引き続き支援する」と述べた。



刈谷市依佐美地区造成事業

「刈谷市内の道路整備をさらに前進」
県議会議員10年、進捗を観る!!

自動車大手部品メーカーの本社や生産拠点、多様なサプライヤーが数多く立地する刈谷市。行政課題の一つに慢性渋滞の対策が挙げられる一方で産業を活性化する物流ネットワークの構築も挙げられます。私は議員1年目から北部、南部の渋滞対策と物流ネットワークの構築が同時にできる方法を練りながら刈谷市、愛知県、国土交通省と折衝する中で「刈谷スマートインター」「県道名古屋岡崎線の延伸」「県道宮上知立線の延伸」を働きかけ、いよいよ今年度末供用に向け追い込みの段階を迎え、現場の道路整備を確認しています。

国道23号線 刈谷市

刈谷スマートインター　伊勢湾岸自動車道

①県道宮上知立線［刈谷市一里山町］

②県道名古屋岡崎線［刈谷市井ヶ谷町］

ご意見、ご要望をお寄せください。QRコードからホームページを是非ご覧ください。

発行：永井雅彦事務所

〒448-8661 刈谷市昭和町1-1
TEL 0566-23-4366　FAX 0566-23-8688
ホームページ:http://www.giin-dnwu.com/nagai/